

IME [ai e mu i] 中堅・中小製造業の経営革新

定期(101)

ものづくりにおける

ヒューマンエラー対策

1. リスクと要因

株式会社 IMEコンサルティング
代表取締役 立居場誠治

Save The Earth
© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

定期経営セミナー開催予定

- 場所
大田区産業プラザ(Pio) 蒲田
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20
TEL: 03-3733-6600
- 日時
12月7日(金) F会議室
1月25日(金) E会議室
2月15日(金) F会議室

18:30から1.5~2時間程度

- テーマ
・企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する

ヒューマンエラーは、今後増加すると思われま

© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

多品種少量、短納期化、短命化等の影響

- 現在は多品種少量、短納期化、短命化が進んでいるため、同一経験を積むことが困難

『作業の習熟・熟練』
『作業方法の改善』
『生産技術の改善』
『設備効率改善』
『製品の改善』等の
機会・回数・時間減少
経験による習熟やコストダウン効果の期待は薄い。

効率・品質の低下
技術技能伝承の問題
ヒューマンエラーの増加

経験曲線 (experience curve)

一単位のコスト(単価)

累積生産量

累積生産量が増えるほど、その生産や販売などに掛かるコストが下がる現象

© S.Tateiba 2017 Tokyo JP.

エラー、ミスは、なぜおこる？

「あるべき姿、目標、計画、基準・標準・手順、常識」などと「行動・作業」に違い(=問題)が生じた結果から起こるもの

【あるべき姿】 (正解)
目標、計画、基準・標準・手順、常識など

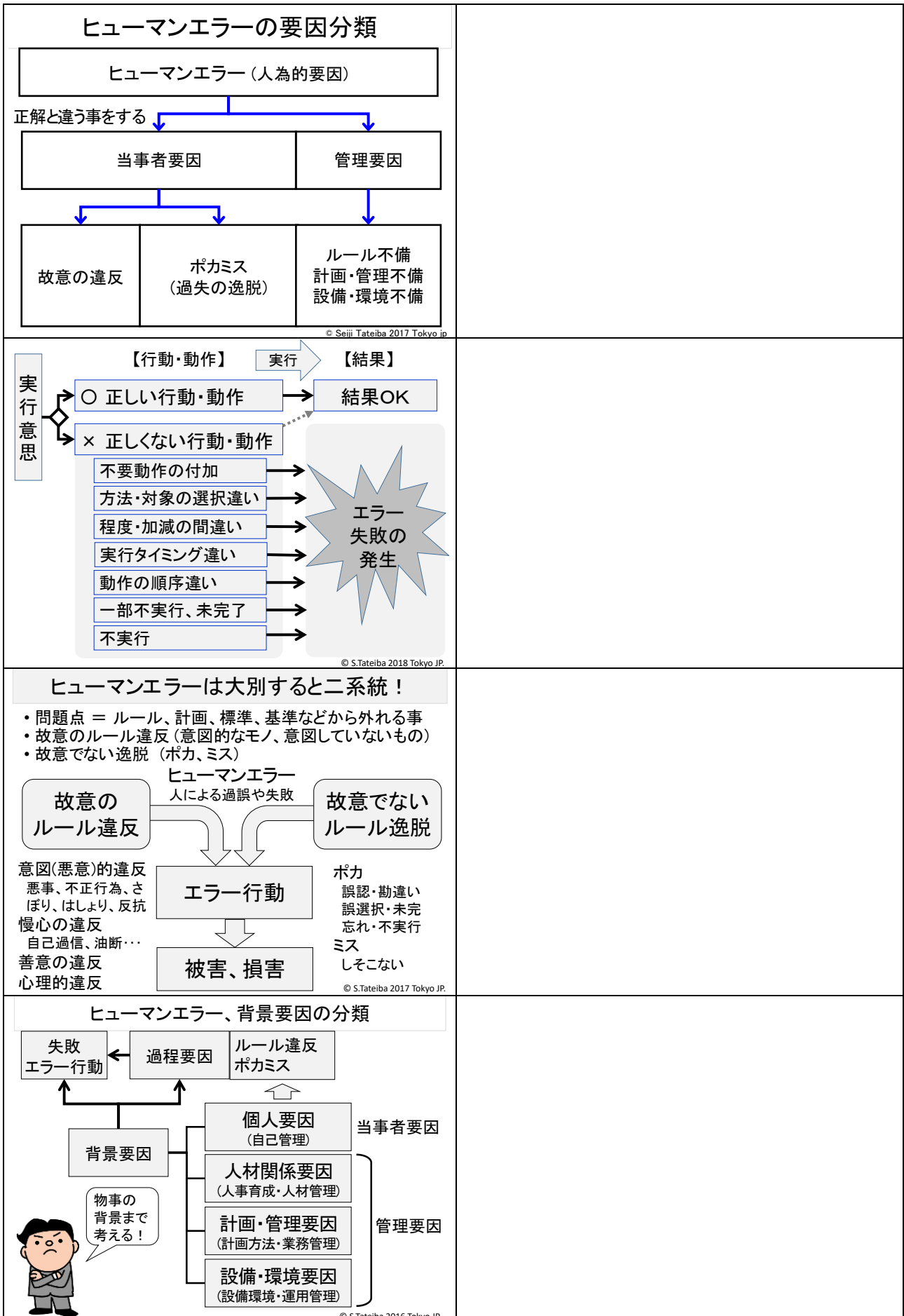
↑ 違い = 問題 ↓

【実態】
行動、作業内容の間違い、モノの選択違いなど

あるべき姿、正解と違うことをするから!!

↓ 【エラー、ミス】
人による過誤、失敗の結果から発生する災害、不良、破損、損害…など

© Tateiba Seiji 2018 Tokyo.jp



※この資料は会場で配布したものの抜粋です。